

会 報

2018～2019 R I 第2720地区

人吉ロータリークラブ

The Hitoyoshi Rotary



通 算 3 0 2 8 回
2019年6月21日
第 4 2 回 例 会

インスピレーションになろう

2018-2019年度 R I 会長
バリー・ラシン

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場 事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505



人吉ロータリークラブ
ホームページ



フェイスブックページ

[E-mail]

hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2018～2019年度 人吉ロータリークラブテーマ 「人生二度なし ～良き出会いを～」

本日の進行

- P1～2 点鐘 会長の時間
- P2 幹事報告、出席率報告、寄付の申し出（退会挨拶）
会務報告、Rの友紹介
- P2～4 R財団・米山カード・ニコニコ箱カード
点鐘
～クラブ協議会 後半～

点 鐘

有馬宏昭 会長

歌 唱

ソングライター 加登住 亮委員長

国 歌 「君が代」
四つのテスト唱和
R S 「奉仕の理想」

司会 - 進行

プログラム 石蔵尚之委員

会長の時間

会長 有馬宏昭



皆さんこんにちは、会長の時間です。

R 家庭内暴力や、わが子への虐待の結果、亡くなってしまう事件が、後を絶ちません。

10代の所謂「できちゃった婚」ですと、望んで妊娠しない場合が多いと思われます。望まない妊娠

ですと、わが子への愛情が乏しく、また出産後も小さな子供がいると働く先も限られます。否応なく、賃金が安い、長時間、つまり昼夜働くことになり、わが子と触れ合う時間がなくなってしまいます。このような状況が、精神的、経済的な困窮がDVや虐待死の原因の一つではないかと思っています。

人を愛することには責任が伴うことを小学生のこ

ろから伝えていくことが必要ではないかと思えます。

今から20年前、長女が1年生の時、PTA学年の委員長を依頼され、引き受けました。クラスの集まりへの保護者の参加が少なく、担任の先生にその理由を伺いました。

「保護者の半分ほどがいわゆるシングルマザーで昼夜働くため、学校行事への参加が少ないのです」と言われ驚いたことがありました。

現在我が家は、生後2歳5か月と5か月の孫と同居です。私が若いときは、育児は家内に任せっぱなしでした。機嫌がいい時は問題ないのですが、私や家内があやしても、火が付いたように泣く5か月の孫に、育児ってこんなに大変なんだと改めて気づいた次第です。

以前テレビを見ていましたら、沖縄での育児のことが放映されていました。急な用事で、子育てを一時的にお願いできる軒数を聞いて驚きました。なんと平均23軒でした。沖縄の出生率が全国の中で高いのは、このような子育てのしやすさ、環境があると思います。山江保育園園長の淵田元会員からも、沖縄の離島と同じように、山江でもおじいちゃんやおばあちゃんと同じように、同居している世帯が多く、出生率が全国的に高いのだと教えていただいたことを思い出しました。

生物の中で、子育てが終わった後も、生き永らえるのは人間だけと聞きました。

では、何のために生きているか、それは子育てをしている母親を支えるため、孫子のためだと本で読んだことがあります。

せつかく生まれた貴重な命。親による体罰禁止を明記した児童虐待防止法の改正法が今月19日に可決成立しましたが、児童相談所や警察に頼らない、子供は地域の宝、子供は授かりものだから見守ってこう、そんな地域社会を作っていく支援が出来ればと思います。

今朝、人吉市図書館で1年生の国語の教科書を見ました。1年生の後半には、漢字やカタカナが出てきます。教科書の内容を理解するためには、就学前に読み書きができることが必要です。就学前に、昼間の仕事で疲れているかもしれませんが、親が努力

して、子供が寝る前の読み聞かせをしていけば、必ずや本好きの子供になります。

国語は、すべての教科の基本です。言葉を豊富に知っていれば、自分の感情を表現出来ます。小学校からの英語教育が義務付けられましたが、英語で表現するためには日本語の語彙が豊富でなければなりません。

未来の日本を作っていく子供たちのため、読み聞かせや図書の充実等、私の得意とすることを、可能な限り支援をさせていただければと思っています。

幹事報告

幹事 新堀純子

①理事会承認事項 (6/21持ち回り)

- ・小林清市会員の退会を承認

②連絡事項

- ・村田会員の御父様が今週月曜日にお亡くなりになりました。村田会員の意向でロータリーへの通知が遅れましたが、本日皆様へFAXでお知らせをお出します。

③掲示板

熊本平成RCより記念式典参加の御礼状
熊本北RC例会変更

出席率報告

委員長 馬氷慎哉

会 員 数	59名	6 / 14 出席率	
出 席 免 除	3名	68.42%	
欠 席 者 数	18名	5 / 3 1 例会	82.46%
出 席 者 数	38名	補 填 数	0名
免除会員出席者数	1名	修正出席率	82.46%

*届け出欠席 石蔵・岩下・中川・北・有村・青木・山田
中村・岩井・大久保・後藤・馬氷・尾上・村田
葉山・外山・小林清・堀川

*出席免除会員 (b) 愛甲 板井 伊久美

会 員 数	59名	本日の出席率	
出 席 免 除	3名	73.21%	
欠 席 者 数	15名	6 / 7 例会	77.19%
出 席 者 数	41名	補 填 数	3名
免除会員出席者数	0名	修正出席率	82.46%

*届け出欠席 竹長・内藤・岩下・有村・青木・中川・村田
大久保・山田・戸高・小林清・村山・外山
尾上・堀川

*出席免除会員 (b) 愛甲 板井 伊久美

*メイクアップ

5/30・6/1 次年度委員会；平田・和田

6/15 地区会員増強セミナー；本田

《 寄付の申し出 》

山賀勝彦会員より「退会記念」として、R財団、米山記念奨学会、人吉RC奨学基金委員会へ、ご寄付がありました。



【退会挨拶】

山賀勝彦会員



16年前に入会し、本当に充実した楽しいロータリーライフを過ごさせていただきました。色々な事がありましたが、そのすべてに会員皆様の支えがありました。

幹事の時、会長の時、事あるごとに何もわからない私に、皆様には厳しくとも温かいご指導を頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。

物忘れも多くなり、近頃の高齢者の事故も他人事ではないと思う様になりました。人様に迷惑をかけないように、これを機会に人吉ロータリークラブという免許証を返納することに致しました。

人吉ロータリークラブが益々繁栄しますことを祈念致しまして感謝の気持ちの寄付をさせていただきました。

本当にお世話になりました。

【雑誌委員会】

ロータリーの友6月号紹介

紹介者 後藤竜一委員長



今月号は、水と衛生月間ということですが、まず横組7ページでは「広報力」印象に残るロータリーのつくり方と特集が組まれております。ここについては渡辺会員、石蔵会員、戸高会員とプロがそろっていますので、ご紹介だけです。16ページより2019年規程審議会報告が記載されています。20ページから23ページにかけてロータリー日本の創始者「米山梅吉」さんの記載となります。

・縦組み

サッカーで見る世界観と題し、奥寺康彦さんの記事です。40年前に世界最高峰のドイツブンデスリーガでプレーされた経験をつづられています。当時に比べ今感じてらっしゃることは若い人たちが世界を見据えているという現実です。まさに当時と比べ世界との距離感が非常に近くなっていると感じます。

移動手段は当然ながら、通信、映像、ネットの普及で、普通に海外のスポーツや文化がすぐ楽しめるようになりました。今のサッカー界、日本代表は海外組でチーム編成がなせるまでになっています。サッカーのみならずメジャーリーグでのイチローや大谷翔平選手の活躍もそうですが、まさに今日NBAで八村塁選手がウィザーズからドラフト1巡目指名を受けました。ありえないことです。奥寺さんのような先駆者がいて日本でもJリー

グが出来、アマチュアからプロ組織へのシステム構築がなされ環境が整いました。

ただ世界のプロとの意識の差は大きかったみたいです。のちに語られますけど、日本人の謙虚さ的ところで引いてしまう。チームのことを考えたつもりが、自分を落としていたということに繋がっていたとのことです。また、言葉が通じない中でのコミュニケーション力を模索された記載については、その強い意志に感動いたしました。いま日本代表はコパアメリカを戦っています。今朝強豪ウルグアイと引き分けました。善戦しています。また、久保建英選手が18歳でA代表デビューしました。リアルへの移籍、2020五輪、2022カタールワールドカップと非常に期待が持てます。

クラブを訪ねては静岡県の長泉ロータリークラブです。米山梅吉記念館があるロータリアンの聖地とのことです。全く知りませんでした。改めて熟読いたします。15ページに例会での君が代合唱の始まりの記載があります。非常に興味深いですね。

【寄付カード】

〈ニコニコ箱委員会〉

- ・有馬会長 山賀パスト会長 永い間お世話になりました。ありがとうございました。寂しくなります。たまには例会に足を運んで頂けたらと思います。
- ・増田会員 人吉教育支援委員会の為早退します。

〈米山記念奨学委員会〉

- ・浦田会員 今年一年間米山奨学基金への御協力ありがとうございました。米山記念奨学委員長として感謝いたします。

点 鐘 有馬宏昭 会長



第3回クラブ協議会 最終報告 後半

【職業奉仕委員会】

委員長) 石蔵尚之 副) 内藤靖雄

委員) 堤正博 塚本哲也 青木一幸 西章文

本年度前半は地区における研修が主な活動となりました。職業奉仕とは、正当な対価を得ながら、しかもそれは他人へ奉仕する運動であることとされています。そこにおいて①高潔さと高い倫理基準をもって行動する②相手とその職業に対して尊敬の念をもって接する…といったロータリアンの行動規範を強く意識し、事業を計画しました。

2月1日は、職業奉仕月間「外部卓話」として、人吉しごとサポートセンター長の松山真一様をお招きしました。仕事の意義についてユーモアを交えながらお話いただき、クイズ形式による一問一答など楽しい卓話になりました。

4月19日の職場訪問例会では、堤正博パスト会長の会社である織月酒造様を訪問させていただきました。堤純子社長からは創業115年の歩み、質の高いものづくり、ブランドの確立、焼酎文化の継承、地域貢献活動など学びの多いお話をうかがい、杜氏の馬場裕次様には焼酎工場を案内していただきました。焼酎蔵では珍しい焼酎の試飲を満喫された方もおられて有意義な職場訪問例会になったと思います。

最後は、5月10日の優良職員表彰です。皆さんのご理解ご協力によって7事業所9名の職員の皆様を表彰させていただきました。

途中、山本会員が退会され、宮崎会員が転勤されましたが、委員会の皆様をはじめ会員の皆様のご協力のもと計画を実践できましたことに感謝いたします。1年間、ありがとうございました。

決算

科目	予算	決算	備考
合計額	150,000	97,136	
優良職員表彰・記念品代	120,000	45,000	5,000×9名
食事代		14,400	1,600×9名
表彰状代		23,328	2,592(税込)×9名
写真切手代		3,000	
職場訪問	10,000	3,000	お礼(お茶)
		4,000	弁当代(1,000×4名)
外部卓話	10,000	2,808	お礼(味噌汁)
		1,600	食事代
委員会費	5,000	0	
資料代	5,000	0	

【社会奉仕委員会】

委員長) 延岡研一 副) 村田武澄

委員) 丸尾孜 本田節 加登住亮 後藤竜一 寶代誠志

委員会事業としては10月13日に「人吉RCチャレンジカップ陸上競技大会」を開催しました。本年度で4回目となりましたが、参加者は球磨支援学校と球磨工業高校の登校日と重なり選手、スタッフ・ボランティア合わせて150名規模の大会となりました。

ロータリアンは当クラブ24名、人吉中央RC6名、水俣RC2名、交流事業を行っていた多良木RC2名、芦北RCが1名の合計35名の参加でした。(アクト2名も参加)なお、クラブ特別会計300,000円の予定に対して支出は239,021円で60,979円の余剰金がありました。

「おくんち祭り街頭募金」においては、村田副委員長に対応して頂き多額の募金を収集して頂きました。

また、人吉温泉観光協会の北会長から、3月22、23日に開催された「観光列車サミット in 人吉球磨」開催にともなうイベント協力として「キッチンカー出展」の依頼があり、急遽、社会奉仕委員会担当事業として出展し無料配布ということもあり、両日とも大盛況のうちに早々と出展を終了しました。予算としては震災復興支援資金を使用する訳にもいかないという事で、特別会計から60,000円を材料費として計上し、支出しました。

【環境保全委員会】

委員長) 増田隆二 副) 堀川匠太
委員) 山口令二 大久保勝人 戸高克彦 平田フク
山田仁法

1. 方針

全員が環境問題に関心を持ち、地域と地球の環境保全に行動を

2. 実施内容

①地域行事のクリーン作戦に参加

8月16日(木)、4月29日(月)

②環境保全例会での卓話3月15日(金)

熊本県森林組合連合会 代表理事専務 藤崎岩男様
「森林の多面的機能について」

③早朝例会 歴史の広場での清掃9月28日(金)

【地域発展委員会】

委員長) 一 副) 有村隆徳
委員) 愛甲康 北昌二郎 板井英朗 岩井和彦
中村太郎

方針；奉仕の理念を念頭に、人吉・球磨地域において、地域発展に尽力されている方及び地域振興のためのイベント等を積極的に支援・協力していく

・地域発展功労者表彰 10月26日(金)

10月26日例会において、地域の読書環境の整備や読み聞かせ活動をされておられる「やまえおはなしグループ おひさま」様を表彰致しました。代表の尾方様から活動報告と読み聞かせを披露して頂きました。

委員長の淵田会員が3月退会されてしまいまして、残りの計画、人吉・球磨地域各種イベント支援・協力、外部卓話は実行に至りませんでした。

予算110000に対し、地域発展表彰に62513円支出

【青少年奉仕委員会】

委員長) 鳥井正徳 副) 葉山裕洋
委員) 岡啓嗣郎 外山博之 漆野智康 竹長一幸
1月以降の取り組みを申し上げます。

2月12日(火) 計画の1つであります「音楽を通した心の豊かさプロジェクト」では、ハンドフルート奏者の高山大和さんをお呼びし、人吉第二中学校で演奏会を実施致しました。生徒たちの興味関心も高く、今後進路に対しても大変参考になったのではと思われました。

計画「進路選択への支援事業」につきましては、3月4日(月)、日本の若きリーダーとして活躍されるウェイビー代表の伊藤健太さんを東京から人吉高校にお出で頂き、講演会を実施致しました。伊藤代表は、自分の経験を元に、これからの授業や進路について話され、新たな道を踏み出す高校生は熱心に聞き入っていました。市役所の幹部の方にも出席頂きました。尚、東京からお呼びしましたが、講演料は無料で、交通費宿泊費を委員会費で負担しました。

青少年奉仕月間卓話では、延岡会員のお世話で地区の次期青少年交換委員長の岡崎利昭様にご来訪頂き、交換留学生の目的や原則、実情等について地区としての取り組みをお話頂きました。

年間を通して計画致しました事業は、会長をはじめ会員の御協力により殆ど実施できたのではないかと思います。御協力に感謝申し上げます。

【国際奉仕委員会】

委員長) 和田栄司 副) 渡辺洋文
委員) 川越公弘 友永和宏 安達玄一 宮原和広
井手富浩

計画の国際交流の検討ですが、アンケート集計結果に基づく地区とクラブとの国際奉仕の情報の共有と今後の事業の検討

(アンケート回答数16名) (複数回答)

アンケート結果から

○「韓国慶山RCとの交流は継続する」が多数(8名)を占め、「但し、方法を考える必要がある」が多くの答えでした。青少年ホームステイも、もう一度方法を考える必要がある、が多数を占めました。5/24調印式の時に、新しい提案をするとすれば?との問いに対して、情報の交換を密にしてお互いのクラブのことがわかるような方法を考慮したらどうか。ホームステイは一度検討することを話し合う(例えば、中学生以上の交流を考える)

○台北稻江RCとの交流は、続ける(12名)と多数を占めました。台北稻江RCとの交流は現状のままが良いとの答えでした。

その中で、新しい提案をするとすれば?の問いに対しては、「若者の交流を活発にしたらどうでしょうか」との意見がありました。

○「輝く瞳に会いに行こう」はどのようにしたらいいと思いますか?

クラブとしては国際交流の中には考えていないが、ロータリアンの中で個人で支援されているので、それを見守り、色々な情報があればその情報を報告して頂き、人吉RCとして手伝えることが出来れば、その時の会長とその時その時で対応していったらよいのではないかと。との回答がありました。

このような結果になりましたが、今後も皆様のご意見をお待ちしております。

5月24日の韓国慶山RCの訪問で、李国際奉仕委員長が、青少年交流はもっと続けていきたい、旨の報告がありました。これを踏まえて、これからの国際奉仕を話し合う必要があると思われました。

最後に、調印式では各委員会皆様のご協力ありがとうございました。

【米山記念奨学委員会】

委員長) 浦田繁喜 副) 浅野 強
委員) 片岡啓一 高山征治 大賀睦朗

活動状況

(1) 地区米山記念奨学セミナーに、会長・幹事さんと共に参加致しました。講演は米山学友でもある米山親善大使として活躍されている、モンゴル出身のエルフボルト・ドロルトヤさんでした。彼女は米山学生時代に培った米山精神を、身をもって実践・実行されており、多方面での活躍で日本と祖国、そして世界とを結ぶ「懸け橋」として、更にはロータリー運動の良き理解者となって活躍されていて、非常に感銘深い講演でした。

(2) 家庭集会は9月願成寺町「田」にて開催。

(3) 米山奨学生の招待事業10月12日(金)米山記念奨学例会において、米山奨学生 翁 力棟君(熊本大学薬学部修士課程2年生、そしてカウンセラー熊本

東南RC山本公也（地区米山記念奨学生選考委員長）会員が同伴来訪して頂き、翁君へ卓話をして頂きました。日本留学の目的、学生生活や米山学生になってからのこと等、非常に興味ある卓話だったと思います。

(4) 今年度の米山奨学委員会への寄付状況
(6/7現在)

一般寄付384,000 特別寄付210,000
米山カード68,000 合計662,000
会員皆様のご協力ありがとうございました。

【R財団委員会】

委員長) 中川貴夫 副) 小林清市

委員) 伊久美寛志 中島博之 山賀勝彦

有馬年度も終わりを迎えようとしております。ロータリー財団委員会の計画も順調に進んでおります。しかし、ここ数年R財団委員会には100万ドル食事からの予算が戴けて無い状態であり、目標達成に叶っておりませんが、先輩たちが積み上げられてこられたR財団資金を減らすことなく若い会員にR財団の意義をわかって戴き、財団寄付をお願いしているところであります。現在、葉山会員がマルチプルPHFを、水野会長エレクト、石蔵会員がPHFを達成して戴きました。また、愛甲会員もR財団寄付をして戴き、マルチプルPHF+5となりました。お陰様で、PHF目標1名が4名となり、ありがたく思っております。また、他の会員にもあと少しで1000ドルになれる方がいらっしゃいますので、お願いしております。

現在、ポリオ撲滅に「あと、少し！」で頑張っておりますが、ポリオプラス寄付、一人当たり30ドルが達成できませんでした。来年度は、理事会でお願いし、理解戴き御協力を宜しくお願い致します。

それと計画の150ドル達成が難しくなりました。財団は寄付で成り立っており、お願いばかりで申し訳ありませんが、来年も引き続き宜しくお願い致します。一年間ありがとうございました。

【人吉RC奨学基金委員会】

委員長) 鳥井正徳 副) 堤 脩

委員) 片岡啓一 岩下幸司 馬氷慎哉

1月以降の取り組みを申し上げます。2月理事会において新しい奨学生8名の承認をいただき、3月始めに両高校へ承諾を通知いたしました。更に全会員に作文で紹介いたしました。4月19日に人吉高校5名、4月12日球磨工3名に奨学生認定証授与式を行いました。校長、担当者、奨学生保護者出席の中で、有馬会長から励ましと期待を込めて授与して頂きました。8月の例会で例年通り奨学生卓話をお願いすることにしています。

尚、奨学基金委員会の活動を人吉RCの地域への奉仕活動の大きな事業として今後も継続して公報などへも行っていったらとご意見をいただいていたので、その一環として、委員会一覧への位置を独自の取り組みとして位置付けて頂くようお願い致しました。委員長には今後直前会長をお願いすることもお願い致しました。

今後共ご協力の程を宜しくお願い申し上げます。

【キッチンカー管理運営委員会】

委員長) 本田 節 中川貴夫 葉山稔洋

熊本・大分地震発生後から3年過ぎ、命のロータリーキッチンカーは被災者への支援と交流を行いながら1日も早い復旧・復興に寄り添ってまいりました。ロータリーの社会奉仕と公共イメージ向上にも少しなりと貢献できたのではないかと感じております。

先日、6月2日日曜日には、前田真実パストガバナーとパスト中野幹事にも大分から駆けつけていただき、アドレスをいただきました。また、仮設住宅での受け入れのお世話をいただいた自治会の皆様、そして地元ボランティアをしていただいた各団体、そしてロータリー会員と家族の皆様約55名一同に会して、“これまでの3年を振り返る”と題して座談会と交流会を開催いたしました。

被災者の皆様方にはこのキッチンカー出動に関しては大変感謝の言葉をいただき、ボランティアをしていただいた皆様もとても素晴らしい活動だとエールをいただきました。

ご意見の中でこれまでの『食』だけの支援ではなく、仮設に残っていらっしゃる高齢者の方々との茶話会や草刈り、引っ越しの手伝いなどの要望もあり復興交流のあり方にもニーズが変わってきたことを実感いたしました。次年度はそういうことも計画の中に織り込み求められる復興支援に努めてまいりたいと思います。今後も引き続き会員そしてご家族の皆様のご協力の程宜しくお願いいたします。

1年間ありがとうございました。

【プログラム委員会】

委員長) 青木一幸 副) 岩下幸司

委員) 片岡啓一 石蔵尚之 尾上暢浩

本年度は、プログラム内容の充実といたしまして、知見をお持ちの先輩各位にご登場いただき、学びの多い内部卓話に重点を置いたプログラム内容と致しました。また、昼食時における親睦時間の確保を図り、食事時間を長く確保する例会日を設け、皆様の情報交換に役立つ例会になればと心がけました。例会内容につきましては段取り8割を心がけ、会長、幹事と共に、毎週水曜、事務局において1カ月先までのプログラム策定に向けて打ち合わせを行いました。また、担当委員会の委員長とも打ち合わせを密にし、例会のスムーズな運営を目指しました。皆様のご協力の賜物により、大きなトラブルもなく1年を終えられることに感謝しています。本当に有難うございました。

【出席委員会】

委員長) 馬氷慎哉 副) 板井英朗

委員) 川越公弘 丸尾孜

例会出席はクラブ会員としての義務であり基本です。出席率の向上、無断欠席の削減(=コスト削減)、出席報告の徹底を方針として一年間務めて参りました。

計画

・メイクアップの奨励:

メイクアップの案内の周知を具体的にすべきであった。アクト例会へ会員全員が、1回だけでも参加して頂きたかったが、実行できなかった。

・無断欠席3回目で委員会よりコスト削減の趣旨を伝える：該当の方には、口頭にて主旨を伝えました。以後、無断での欠席はなくなった。(当日欠席の場合は、10時までの事務局連絡を徹底)

・100%出席達成者を表彰する：

有馬年度100%出席者への表彰を行う。

【参考】

ポリオワクチンは1回分15.1円(日本ユニセフHPより)投与回数は最低2回です。一人あたり約30円です。ということは、お一人が1回無断欠席した場合、約43名分のワクチンが生成できない計算。

【公共イメージ委員会】

委員長) 葉山稔洋 副) 戸高克彦

委員) 渡辺洋文 井手富浩 西章文

当初の計画に対し

①表敬訪問は7/6青井阿蘇神社参拝のあと、球磨地域振興局・人吉新聞・人吉警察署・人吉税務署・人吉市役所・人吉商工会議所7/9

を無事に済ませました

②人吉RCの活動内容は、随時FB等を利用し、広報しております。何といたっても石蔵会員がおられるのが力強く、感謝申し上げます。

また、10月19日の3000回例会の事をロータリーの友に投稿をしましたが、残念ながら採用されませんでした。

③マイロータリーの22%を予定では、50%にともくろんだのですが、残念ながら今現在3名増の30.35%です。(登録者は安達、青木、有馬、後藤、葉山、井手、石蔵、岩井、片岡、増田、水野、中川、延岡、戸高、友永、和田、渡辺計17名)

登録が出来たと勘違いされている方(本田、加登住、村田、新堀)

⑤IT研修会はシステムランドで移動例会をし、マイロータリーの登録とメールの基礎知識等に取り組んだ。

⑥Eクラブへのメーキャップ方法については、何もしませんでした。

※家庭集会は、11月25日に渡辺会員の釣ってこられた太刀魚を頂きました

【雑誌委員会】

委員長) 後藤竜一 副) 一

委員) 岡啓嗣郎 小林清市

メンバーは副委員長に板崎幸範会員、岡啓嗣郎会員、小林清市会員、山本友枝会員、の5名でしたが、退会者だらけで私と岡会員のみとなりました。

方針に即し1年間友の紹介に努めてきました。計画については紆余曲折ありましたが、岡会員のユーモアあふれる紹介をはじめ、寶代会員、馬米会員、塚本会員のご協力をいただき完遂することができたと思っております。ご協力いただいた会員の皆様には改めて感謝申し上げます。

また、例会スケジュールの関係で随分巻きが入ったことありますが、皆様大変工夫を凝らし紹介をいただきました。

友の到着は前月の初旬に送られてくるのですが、一時期前月末近くに到着する時期がありまして、プログラム委員会にもご迷惑をおかけいたしました。

③の会員企業の事務所及び待合室等に常備してもらおう。引き続きお願いいたします。

残念なのが④の公共イメージ委員会より投稿をいただきました10月19日の3000回例会の件が現在までご紹介することが出来ておりません。ボツになってしまったのか・・・

【SAA】

委員長) 加登住亮 副) 安達玄一

委員) 村山能史 村田武澄 増田隆一

メンバーの皆様が、落ち着いていろいろな話聞き入れる環境を、どう作ろうかと取り組んでまいりました。担いは多岐にわたり毎週の設営もバタバタとしたこともありましたが、重なった時に手が足らず、経験者にお手伝いいただくこともありました。しかし、概ね役割を果たすことができたのではと少しホッとしています。委員の皆様には積極的に動いていただきまして、ありがとうございました。

委員会としての今後の課題は、映像及び音響のスキルを多くの人が身につけていくことです。

年間を通して個人的にも学びの多い年となりました。感謝とともに報告と致します。